

日本語教育機関のための自己点検・評価項目 各種学校 九州英数学館国際言語学院

【評価】

- A: 達成されている
- B: ほぼ達成されている・改善に取り組んでいる
- C: 達成に向けて努力している
- D: 達成されていない

1. 教育理念・目標

【教育理念】

- (1) 外国人留学生に対する日本語教育を行い、学生が日本文化を深く知る手助けをすること、また日本及び諸外国との交流に役立つ人材を育成することを理念とする。
- (2) 「卓然自立」の校訓に基づき、自己を律し目標に向かって努力を尽くす人間の育成に努める。

【教育目標】

- (1) 本学院は、我が国の大学院、大学等に入学を希望する外国人学生並びに我が国において日本語を習得しようとする外国人に対する日本語、日本文化などの教育を行うことを目的とする。
- (2) 読む・書く・聴く・話すの日本語4技能の養成と日本事情に関する知識の習得を目標とする。

【育成する人材像】

- (1) 日本という異文化の中での留学生活を通して、日本語力および日本文化への理解を高める姿勢をもつ留学生の育成に努める。
- (2) 日本語の理解力を活用して他者とのコミュニケーション能力を高め、マナーや協調性を重んじ、社会活動ができる外国人留学生の育成に努める。

1-1 教育理念・教育目標・育成人材像は定められているか。

A

1-2 教育理念に基づく教育が行われているか。

A

1-3 教育目標に基づく教育が行われているか。

A

1-4 教育理念、教育目標および育成する人材像が、教職員に周知されているか。

A

2. 学校運営

2-1 日本語教育機関の告示基準に適合しているか。

A

2-2 運営組織や意思決定機能が確立され、効率的なものになっているか。

B

2-3 管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われているか。

B

2-4 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか。

C

2-5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確かどうか。

B

2-6 危機管理体制が整備されているか。

C

2-7 施設・設備は教育上の必要性および学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか。

B

3. 教育活動の計画				
3-1 理念・教育目標に合致したコース設定をしているか		B		
3-2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成しているか		B		
3-3 国内、又は国際的に認知されている熟達度(JLPTなど)の枠組みを参考にしてレベル設定をしているか		B		
3-4 教育目標に合致した教材を選定しているか		B		
3-5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか		B		
4. 教育活動の実施				
4-1 学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか	A			
4-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか		B		
4-3 開示されたシラバスによって授業を行っているか		B		
4-4 記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	A			
4-6 各種日本語試験(JLPT/EJUなど)の成績向上のための指導体制があるか		B		
5. 成績判定				
5-1 成績判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われているか。また判定基準と方法を開示しているか		B		
5-2 成績判定(理解度・到達度の確認)を適切に行っているか		B		
5-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか			C	
6. 教育活動を担う教職員				
6-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤講師の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか	A			
6-2 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか		B		
6-3 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしているか		B		
6-4 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか		B		
6-5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか			C	
6-6 教員及び職員の評価を適切に行っているか			C	

7. 教育成果				
7-1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理しているか	A			
7-2 修了・卒業の判定を適切に行っているか	A			
7-3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験を把握しているか	A			
7-4 卒業又は修了後の進路を把握しているか		B		
8. 学生支援計画				
8-1 学生支援計画を策定し、支援体制を整備しているか		B		
8-2 生活指導責任者が特定され、その職務内容および責任と権限を明確化しているか。 また、これらの者を学生および教職員に周知しているか	A			
8-3 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的実施しているか	A			
8-4 住居支援を行っているか		B		
8-5 アルバイトに関する指導および支援を行っているか	A			
8-6 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入しているか	A			
8-7 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施しているか	A			
9. 進路に関する支援				
9-1 進路指導担当者を特定しているか	A			
9-2 学生の希望する進路を把握しているか	A			
9-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生に提供できる状態にあるか		B		
10. 入国・在留に関する指導および支援				
10-1 入管事務担当者を特定し、その職務内容および責任と権限を明確に定めているか-1		B		
10-2 担当者は、研修受講等により最新、かつ、適切な情報取得を継続的に行っているか		B		
10-3 地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置しているか	A			
10-4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか		B		
10-5 在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか	A			
10-6 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか			C	

11. 教育環境				
11-1 教室は、十分な照度があり、換気がなされているとともに語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか	A			
11-2 授業時間外に自習できる部屋を確保しているか	A			
11-3 教室内容および学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能か		B		
11-4 教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備しているか		B		
11-5 教員および職員の執務に必要なスペースを確保しているか	A			
11-6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置しているか	A			
11-7 法令上必要な整備等を備えているか	A			
11-8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか			C	
11-9 バリアフリー対策を施しているか				D
12. 入学者の募集と選考				
12-1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定しているか			C	
12-2 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか			C	
12-3 海外の募集代理人(エージェント等)に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握しているか			C	
12-4 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額および納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか		B		
13. 財務				
13-1 財務状況は、中長期的に安定しているか	A			
13-2 予算・収支計画の有効性および妥当性が保たれているか		B		
13-3 適正な会計監査が実施されているか	A			
14. 法令遵守				
14-1 法令遵守と適正な学校運営がなされているか		B		
14-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っているか			C	
14-3 個人情報保護のための対策をとっているか			C	
14-4 関係官公庁への届出、報告を遅滞なく行っているか			C	
15. 地域貢献・社会貢献				
15-1 学校の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか				D
15-2 学生ボランティア活動への支援を行っているか				D
15-3 公開講座等を実施しているか	A			